

栃木県生協連・2013年度4月定例報告

2013年4月10日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 3月活動日誌

日付	曜日	内容
3月1日	金	県くらし安心サポーター研修会
3月4日	月	県連国際協同組合年ワーキングチーム報告会、同懇親会
3月5日	火	日生協・生協監事監査基準モデル説明会
3月7日	木	県連監事研修会、会計研修会
3月9日	土	食の安全安心とちぎ消費者セミナー(宇都宮・とちぎコープ)
3月11日	月	とちぎ食の安全ネットワーク全体会(消費者セミナー)
3月12日	火	県連常務理事会
3月14日	木	県食育推進連絡会、県マーケティング協会理事会
3月15日	金	小山市地産地消食育連絡会
3月16日	土	いわき四倉お茶会
3月18日	月	県連災害対策交流会
3月19日	火	ふれあいお茶会、国際協同組合年栃木県実行委員会 福祉センター理事会
3月21日	木	消費者セミナー最終プロジェクト会議
3月24日	日	NPOサポートネット理事会
3月25日	月	とちぎ消費者ネットワーク全体会
3月26日	火	県連6県連研修会実行委員会
3月27日	水	県マーケティング総会
3月28日	木	地連運営委員会・総会議案検討会
3月29日	金	労福協・福祉まつり実行委員会
3月30日	土	上野通子参議院議員への要請

(2) 3月活動の概況

(会員動向)

3月1日野木町ととちぎコープの「野木町安全・安心見守りネットワーク事業民間協力団体等に関する協定」(略称・見守り協定)が締結された。栃木県を含めるととちぎコープとよつ葉生協、5自治体間で見守り協定が締結されたことになる。

(監事・会計研修会について)

3月7日県連の監事研修会を開催し5会員18名の参加があった。内容は監事監査の基本と日本生協連でこの間検討されてきた改訂「生協監事監査基準モデル」等について日生協法規会計支援室の塩飽氏から説明がされ、質疑が行われた。同日午後の会計研修会では、5会員17名の参加があった。日生協法規会計支援室の江藤氏、石川氏から税制改正の内容、最近の会計実務に関する留意点として、「生協の会計実務の手引き」改定内容の説明と質疑が行われた。

特に来年度総代会に向け監事監査規則の新設及び改定などの重要性が強調された。

(災害対策交流会)

3月18日2012年度2回目の「災害対策交流会」を開催し、3市、5団体、5生協21名の参加があった。宇都宮市の地域防災計画（修正）について危機管理課の福田主幹から報告いただいた。修正のポイントは、被害想定の見直しを行い、最大震度は6強→7に変更され、避難者数の増加、放射性物質による汚染などが加わり、対策も加えられたとのこと。現在世界は地震火山の活動期に入り、南海トラフ巨大地震や首都直下地震、火山噴火など、千年から数百年単位の自然災害が発生する危険性が高まっているとの指摘もされた。

とちぎ暮らし応援会の石垣氏からは、県内に避難されている約2,900名の方々の状況の報告があった。アンケートでも将来への不安や決められないなどの方が多く、帰還希望の減少と定住希望の増加も見られた。震災から2年を経て困難さを増している避難者の方も多いたとの指摘もあった。日本生協連からの生協のBCP（事業継続計画）に対する対応状況など報告され、全体で参加組織間の交流も行われた。



(福島県から避難されている方々のふれあいお茶会)

3月19日（火）第19回目ふれあいお茶会が特養みどりで開催された。今回は、大人18名、子供2名、20名で、継続参加の皆さんだった。協力者、スタッフは県連9名（とちぎコープ6名、よつ葉生協3名）、ウィズ2名、ふれあい1名、ぼぼら1名、福島県から1名、計14名だった。ホットケーキとお好み焼きを準備されお茶会が開催された。編み物の作品を持ってこられた方、先月出産されたお子さんの写真を見て話が盛り上がり、一人でも行ってみようとの気持ちになるなどのお話が出されていた。

(いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

3月9日（土）第13回目のいわき市四倉中核工業団地仮設でのお茶会が開催された。いわきでのお茶会も1年を迎えた。参加スタッフは、とちぎコープ6名、よつ葉生協2名、県連2名の計10名、車はよつ生協ワゴン車1台、とちぎコープの1台でいわきに向かった。



参加された方は大人13名（内男性名）、子ども3名だった。グリーンポット（苔玉に観葉植物を定植）づくりやミニボトルを使った雛人形づくりで楽しんでいた。

フラワーアレンジなど花を使った手芸を楽しみにされていて、心が癒される時間と場が求められている。

(食の安全課題の関連)

「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」は、3月9日(土)とちぎコープ生協主催のセミナーとして宇都宮のアグリプラザで開催された。

講師は、福島県水産試験場の場長五十嵐敏氏から「福島県における水産物放射能汚染の現状と対応」について詳しく講演をいただき、質疑が行われた。

参加者は、土曜にも関わらず68名だった。



3月11日とちぎ食の安全ネットワーク主催のセミナーが、アグリプラザで開催された。

講師は京都大学名誉教授、京都大学放射線生物研究センター特任教授の渡邊正巳氏にお願いした。「放射線による食品への影響を通じて食の安全安心を考える。」として、講演をいただいた。科学的な基本から放射性物質を説明され、人体への影響について詳しく話がされた。時間の関係で質疑は行われなかった。参加者は61名だった。

3月でセミナーは終了し、20会場、1,774名の参加を得ることができた。開催団体は7団体、講師をお願いした方は10名、県内自治体では11/26自治体のエリアで県民の方対象に、保育も設けながらきめ細かく開催することができた。開催団体によっては、自治体や教育委員会にも働きかけ後援をいただき、学校や園を通じて保護者の方にお知らせを届けることができた。開催7団体の様々な努力とご協力に心よりお礼を申し上げます。県の受託事業として終了報告を行い、全体報告集の編集・発行準備を進めた。

(消費者課題)

3月22日消費者ネットワークの条例試案検討委員会第5回目が開催された。杉原代表から試案の骨格が提案され、更に具体的な条例試案を4月中に作成していくことが確認された。

3月25日消費者ネットワークの全体会が開催された。学習会として服部有弁護士から「個別事件と適格消費者団体事件の対比などについて」報告がされ、質疑が行われた。訴訟に係る弁護士さんとして、具体的な裁判手続きなど含めて、個人で訴えた場合と適格団体が差止請求した場合の対比など、分かりやすく説明をいただいた。

全体会では、シンポジウムの振り返り、条例検討委員会の報告、県から提案のあった委託事業としての若者層に向けた「とちぎ消費者カレッジ」について、意見交換がされた。「とちぎ消費者カレッジ」については、受託の方向で具体的に検討していくことが確認された。

3月30日(土)上野通子参議院議員の宇都宮事務所を消費者ネットワークの杉原代表、竹内副代表、他事務局、4名で訪問し、集団的な消費者被害回復訴訟制度の法制化について協力を要請した。現在、自民党の消費者問題委員会で検討が行われていて、国内経済3団体と在日の海外の経済4団体からは、緊急提言が出され法案提出の見送りが求められている。

(国際協同組合年)

3月4日栃木県連内の「国際協同組合年ワーキングチーム報告会」が福祉センターで開催された。県くらし安全安心課、宇都宮大学農学部、労働者福祉センターからも参加があり、10 会員 1 連合会、57 名の参加を得ることができた。ワーキングチームメンバー全員から基本は、報告をしてもらうこととした。第1報告はとちぎコープ川端氏、県職員生協中村氏、生活クラブ中塚氏、全労済篠崎氏、学校生協沼尾氏5名の報告と事業団田中専務に5報告へのコメントをいただき、第2報告ではとちぎコープ関口氏、よつ葉生協中田氏、医療生協宮本氏、コープ福祉とちぎ澤田氏、4名の報告と宇都宮大学農学部神代准教授から4報告へのコメントをいただいた。

1年半に亘ったワーキングチームの学習と日頃の実践が反映されたそれぞれの報告は、内容も良かったと同時に、最後の会長のまとめで国際年だけに終わらせず各会員の中で継続してもらえようとの話がされた。

報告会終了後、メンバーへの1年半の慰労の意味で会員による懇親会を開催した。



(ワーキングチームの報告会)

3月19日に第4回目の栃木県実行委員会が、JA 栃木中央会の電算センターで開催された、今後の「栃木県実行委員会」の組織再編について提案し、「栃木県協同組合連絡会」として継続していく事が確認された。代表副代表の役員は継続することも確認された。会費は設けないことから監事は置かないことも確認された。

(3) 5～7月の課題

1. 6連合同業態研修会の開催と成功
2. 4～7月部会等活動の推進
(くらし部会・平和の学習会開催、地域部会開催、職域部会開催、第1回災害対策交流会の開催)
3. 5～7月ネットワーク(食の安全ネット、消費者ネット、福祉ネット)の2012年度活動の振り返りと2013年度計画・予算等の確認の推進
4. 消費者ネットワークでの「とちぎ消費者カレッジ」の検討と具体化
5. 震災から2年を経て被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
6. 県連第44回通常総会の準備と開催

今後の活動予定及びお知らせ（4～6月）

1. 栃木県生協連会員の総代会等日程（現時点で連絡をいただいている会員）

- 5月27日 栃木県労働者消費生協 総代会
- 6月1日 企業組合とちぎ労働福祉事業団 総会
- 6月13日 生活クラブ生協 総代会
- 6月8日 よつ葉生協 総代会
- 6月18日 とちぎコープ生協 総代会
- 6月18日 栃木県学校生協 総代会
- 6月27日 栃木県職員生協 総代会
- 6月30日 栃木保健医療生協 総代会

2. 栃木県生協連の活動予定

- 4月13日（土）11時～、いわき市四倉工業団地仮設、「お茶会」
- 4月16日（火）10時～、特養みどり、「ふれあいお茶会」
- 4月22日（月）、県連、監事監査
- 5月9日（木）13時半～、「くらし部会拡大学習会」
講師予定 公益財団法人 広島平和文化センターから
派遣いただく予定
仮題 核廃絶に向けた状況と2020ビジョン
（世界平和市長会議の状況含めて）
- 6月3日（月）10時～、福祉プラザ、「くらし部会」
- 6月28日（金）14時～、パルティ、「栃木県生協連・第44回通常総会」

3. ネットワークの活動予定

- 4月12日（金）15時～、とちぎアグリプラザ
とちぎ食の安全ネットワーク・世話人会
- 4月16日（火）10時～、栃木県司法書士会館3階会議室
とちぎ消費者ネットワーク・条例検討委員会・幹事会
- 5月10日（金）14時半～、栃木県司法書士会館3階会議室
とちぎ消費者ネットワーク・全体会
- 5月16日（木）13時半～、とちぎアグリプラザ予定
とちぎ食の安全ネットワーク・全体会

4. 栃木県及び他団体の行事参加の予定

- 4月27日（土）10時頃、宇都宮オリオン通り、栃木県労福協「福祉まつり」
- 5月31日（木）13時半～、県総文センター、栃木県「消費者のつどい」
- 6月15日（土）10時～16時予定、県庁舎本館、東館、県庁前広場、
昭和館、県議会棟、県総文センターホール
県民の日記念イベント（栃木県誕生140年記念）